

2018年2月6日(金)

国際連語論学会会員各位

国際連語論学会会長

王 学群

国際連語論学会第6回大会についてのお知らせ

標記の件、若干修正を加えましたので、下記のとおり再度お送り致します。会員各位におかれましては万障お繰り合わせのうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日時：2018年2月24日(土)・25日(日) 9:00~18:00

会場：大東文化会館ホール (JR 池袋駅より東武東上線各駅停車東武練馬駅下車徒歩4分)

プログラム：別紙参照

第6回大会参加費：¥1,000円(会員、非会員共通)

- ※1. 研究発表者の各位におかれましては資料を70部ご用意くださり当日お持ちください。
- ※2. 研究発表者はメール(添付)で1週間前に発表用の資料を司会者にお送りください。
- ※3. 年間会費(社会人¥2,000円、院生・学生¥1,000円)を受け付けます。また、新入会員の受け付けも致します。
- ※4. 学会誌：当日は年間会費をお支払いの会員の皆様に学会誌(『研究会報告第42号』)をお渡しいたします。
- ※5. 懇親会：国際連語論学会名誉会長鈴木康之先生を囲んでの懇親会です。(日時：2月25日(日)18:00~19:30 場所：大東文化会館K-404、会費：¥1,000円)
- ※6. 司会、研究発表者、特別講演者の皆様に対しては、担当当日分だけ粗餐(昼食)をご用意させていただきます。

以上

国際連語論学会第6回大会のお知らせ(2017年度)

日時: 2018年2月24日(土)・25日(日)午前9時00分より午後6時00分

会場: 大東文化会館ホール(JR池袋駅より東武東上線各駅停車東武練馬駅下車、徒歩4分)

参加費: 1,000円(24, 25日共通、会員・非会員共通)

国際連語論学会第6回大会24日(土)プログラム(2017年度)

日時: 2018年2月24日(土)午前9時00分より午後6時00分

受付(9:00-)

総合司会 神野智久(大東文化大学・非常勤講師)

開会の辞 須田義治(大東文化大学) 9:20-9:30

1. 『官話指南総訳』と『官話指南精解』の語彙解釈 9:30-10:00

孫雲偉(大東文化大学大学院生)

2. 《老乞大》の四種の刊本における“把”構文の対照研究 10:00-10:30

小路口ゆみ(大東文化大学大学院生)

司会: 福本陽介(名古屋産業大学)

休憩(10分: 10:30-10:40)

3. 非物理的空間における“V过来”“V过去”と日本語の対応関係について 10:40-11:10

蘇 秋韻(大東文化大学大学院生)

4. NLBに基づく類義語のコロケーション分析 11:10-11:40

連 路(上海外国語大学大学院生)

5. 日本語母語話者と中国人学習者に見られる結束性の差異  
—「YNU書き言葉コーパス」を分析対象として— 11:40-12:10

単 艾婷(九州大学大学院生)

司会: 白石裕一(中央大学・兼任講師)

昼休み(50分 近くに食堂多数あり 12:10-13:00)

6. 日本語の時間表現における例示的用法について 13:00-13:30

臧 昉(上海外国語大学大学院生)

7. 「ながら」の意味構造 13:30-14:00

尹 雪揚(上海外国語大学大学院生)

8. 日中両言語における「存在」と「所有」について—「Yが{ある/いる}」の構文を中心に— 14:00-14:30

洪 安瀾(閩南師範大学)

司会: 時 衛国(愛知教育大学)

休憩(10分 14:30-14:40)

9. 日本語の受身文の仕手について 14:40-15:10

劉 爾瑟(上海建橋学院)

10. カラ格受動文についての一考察 15:10-15:40

朴 仙灵(上海外国語大学大学院生)

11. 関数検定から見るノデハ・ンデハ条件文の中国語訳ストラテジー研究 15:40-16:10

孫 甜甜(大連理工大学大学院生)

司会: 迫田(呉)幸栄(名桜大学)

休憩(10分 16:10-16:20)

12. フ格感情動詞とフ格所有化動詞との繋がりについての試論—フ格感情動詞とニ格感情動詞の比較をととして— 16:20-16:50

家城亜裕実(上海外国語大学大学院生)

13. 身体語彙を含んだ[Xが、Yに、Zを、V]構文について 16:50-17:20

張 曉東(大東文化大学)

14. 局面動詞の対照研究 17:20-17:50

時 衛国(愛知教育大学)

司会: 続 三義(東洋大学)

閉会の辞 彭 広陸(東北大学秦皇島分校) 17:50-18:00

※当日の入会申し込み及び学会費(年会費: 社会人¥2000円、院生¥1000円)の受け付けも致します。

国際連語論学会第6回大会25日(日)プログラム(2017年度)

日時: 2018年2月25日(日)午前9時00分より午後5時50分まで

参加費: ¥1,000円(24, 25日共通、会員・非会員共通)

受付(9:00-)

総合司会 竹島 毅(大東文化大学)

開会の辞 鈴木 泰(東京大学名誉教授)

9:20-9:30

1. 時量詞構文の構文的意味としての継続義・状態性について

9:30-10:00

福本陽介(名古屋産業大学)

2. “V了0”の文終止について

10:00-10:30

白石裕一(中央大学・兼任講師)

司会: 石井宏明(東海大学・非常勤講師)

休憩(15分 10:30-10:45)

3. 日本文学作品における中国語訳多変量解析

10:45-11:15

李 光赫(大連理工大学)

4. 日本語の連体修飾節における受身形についての一考察—「ラレル形」を中心に

11:15-11:45

孫 海英(北方工業大学)

5. 禁止文に関する一考察—中日対照を中心に

11:45-12:15

彭 広陸(東北大学秦皇島分校)

司会: 安本真弓(跡見学園女子大学)

昼休み(100分 近くに食堂多数あり 12:15-13:15)

[特別講演]

(1) 研究者としてのあるべき姿勢

13:15-13:25

鈴木康之(大東文化大学名誉教授)

(2) 「とあって」と「にあって」の意味と用法—「ある」の後置詞化と状況の指示的特性—

13:25-14:05

田中 寛(大東文化大学)

(3) 連語論から見る「動詞+“上”+客体」の“上”について

14:05-14:45

高橋弥守彦(大東文化大学)

(4) 日中翻訳—「天声人語」(1997. 7. 18)

14:45-15:25

続 三義(東洋大学)

司会: 須田義治(大東文化大学)

休憩(15分 15:25-15:40)

6. “有点儿”の副詞的な性格について

15:40-16:10

王 学群(東洋大学)

7. ト格の名詞がくわわる連語(再考)と、トノ格の名詞がくわわる連語とのかかわり

16:10-16:40

松浦恵津子(松蔭大学)

8. 子どもの認識・思考を育てることばの教育

16:40-17:10

鈴木康之・浜野豊美(数学教育研究会)

司会: 大島吉郎(大東文化大学)

閉会の辞 王 亜新(東洋大学)

17:10-17:20

総会 17:20-17:50

※当日の入会申し込み及び学会費(年会費: 社会人¥2000円、院生¥1000円)の受け付けも致します。

※懇親会(日時: 2月25日(日)18:00~19:30、場所: 大東文化会館 K-404、会費: ¥1,000円)